

# インフォシス、Envision AESC の電気自動車（EV）用 バッテリー製造工程をデジタル化および自動化

大手 EV バッテリーインバーターとインフォシスが Infosys Cobalt による  
クラウドベースのモジュール式プラットフォームを共同開発

バンガロール（インド） - 2022 年 11 月 22 日: 次世代デジタル・サービスおよびコンサルティングの世界的リーダーである [インフォシス](#)（NSE, BSE, NYSE: INFY）は本日、世界的な大手バッテリー技術企業である [Envision AESC](#) との戦略提携を発表しました。インフォシスはこの提携を通じて、クラウドベースのプラットフォームを構築し、Envision AESC の電気自動車（EV）用バッテリー製造工場の手作業工程のデジタル化と自動化を支援します。

まず、クラウドベースのプラットフォームで人手の介入を多く必要とする主な工程をデジタル化します。長期的には、データリブンのレポートと分析ツールにより、クラウドベースのプラットフォーム上での生産性向上やエンドツーエンドの可視性の向上、品質監視プロセスの簡易化を目指します。さらに、モジュール式の拡張可能なクラウドベースのプラットフォームにより、ユーザー体験を豊かにするだけでなく、スケーラブルで回復力のある予測可能なパフォーマンスを実現する業務アプリケーションを地域を越えて展開する予定です。インフォシスと Envision AESC が共同開発するこの新たなクラウドベースのプラットフォームには、企業のクラウドジャーニーを加速するサービス、ソリューションおよびプラットフォームがセットになった Infosys Cobalt の AWS Cloud のコンポーネントを用います。 <https://www.infosys.com/services/cloud-cobalt.html>

**Envision AESC のグローバル製造およびサプライチェーン部門エグゼクティブ・バイスプレジデントである Brian Sullivan 氏**は次のように述べています。「Envision AESC のバッテリー技術の進歩は EV 革命を新たな高みへと押し上げるでしょう。当社の革新的なバッテリーの製造工程には、イノベーションを加速し、拡大する堅牢なデジタルの土台が必要です。インフォシスはその信頼性の高いクラウド技術と自動車業界に関する豊富な知識で、当社の変革目標達成への道のりを支援してくれると信じています。」

**インフォシスのエグゼクティブ・バイスプレジデント兼グローバル製造部門長である Jasmeet Singh** は次のように述べています。「e-モビリティが自動車のランドスケープを変え続けるなか、クラウドへの堅牢なデジタルコアの構築は企業の必須事項となっています。Envision AESC が当社と共同で、クラウドファーストのアプローチを採用し、EV 用バッテリー製造工場の業務のデジタル化を行ってくれることを嬉しく思います。この共同開発が持続可能でサイクル利用可能な次世代 EV バッテリーの開発につながると信じています。」

### Envision AESC について

Envision AESC は世界をリードするバッテリー技術企業として、ハイパワーバッテリーおよびエネルギー蓄積バッテリーの研究、開発、設計、製造および販売にコミットしています。日本に本社を置き、高性能の拡張範囲バッテリーを 44 カ国の 65 万台を超える電気自動車向けに製造した実績があり、「バッテリーの重大な不具合ゼロ」の記録を達成しています。詳しくはこちらをご覧ください。 <https://www.envision-aesc.com/en/> <https://www.envision-aesc.com/en/>

### インフォシスについて

インフォシスは、次世代デジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。当社の従業員 30 万人以上が個人や企業、コミュニティの人材の潜在能力を高め、次の機会を創造する取り組みを行っています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムや業務管理の経験に基づき、世界 50 か国以上のお客様のクラウドによるデジタル変革を専門家として導いています。この実現には AI を導入したコアを利用しており、企業の力を高めるためにアジャイル手法とデジタル化を大規模に導入しています。また、当社の常に学ぶ姿勢は、デジタル・スキル、専門知識、および当社のイノベーション・エコシステムから創出されるアイデアの移転を通じて、お客様の継続的改善を実現しています。当社はガバナンスの行き届いた、持続可能な組織環境づくりに強くコミットしており、受容性の高い職場で多様な人材が活躍しています。

インフォシス (NSE, BSE, NYSE: INFY) が次のステージへと進む企業を支援する方法については、[www.infosys.com](http://www.infosys.com) をご覧ください。

### セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中

化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2021 年会計年度（2022 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、[www.sec.gov](http://www.sec.gov) でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。<https://www.sec.gov/>

詳細のお問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス

マーケティング本部長 安藤 [jo\\_ando@infosys.com](mailto:jo_ando@infosys.com)